

懐かしい写真（1）

昔の写真を愛用している iPad で撮影して、レポートを書いていきたい。古い写真もなかなか綺麗によみがえる。懐かしい写真をつい振り返りたくなる心境だ。こんなことを思いつづくのも、歳のせいだろうか。

順不同ではあるが、まずは 1985 年 4 月に東京の経団連ホールで開催された国際シンポジウムから。

これは日本生命財団が主催したもので、「21 世紀の大都市像」がテーマだ。写真の壇上左から 3 人目が私で、じっと下を向いた姿勢が印象的だ。

日生財団の助成を受けて、柴田徳衛先生が代表の共同研究成果を発表した国際シンポジウム。当時は名古屋市立女子短大に就職して 6 年。大阪や名古屋の大都市行財政研究をしていた関係もあり、共同研究メンバーとして参加。柴田先生にはお世話になった。大分などの調査が記憶に残る。

写真下はシンポジウムで報告したときである。とにかく、東京「初舞台」とあり、めちゃくちゃ緊張していた。まさに「キンチョウの春」であった。でも今から考えると、我ながら、若くてなかなか格好よい写真である。だから大切に取っておいた。若いのは当然で、今から 31 年も前である。

写真はともかく、なにを報告したのかである。正直よく覚えていない。でも、ちゃんと「証拠」がある。

1986 年 12 月 25 日刊行の柴田徳衛編『21 世紀への大都市像』東京大学出版会のなかに、シンポジウム報告をもとにした原稿が収録されている。第 2 章Ⅲ「産業構造の変化と『成熟都市』大阪の財政問題」である。その最後だけでも紹介してみたい。

「こんご 21 世紀にむかって、大阪の活性化をはかり新しい行政課題にこたえていくために、財政硬直化にみられるような『財政ストレス現象』をくいとめる財政改革は不可欠である。同時に、『財政ストレス』をもたらししている産業構造・都市構造の変化、それに伴う都市としての活力低下に歯どめをかけていくことがもとめられている。」



(2016 年 5 月 24 日)